

令和6年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日 時：令和6年7月17日（水） 14：00～15：30

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：8名

安次嶺宏哉(沖縄協同病院)、有賀拓郎(琉球大学病院)、伊江将史(県立中部病院)、
新里雅人(県立宮古病院)、照屋淳(北部地区医師会病院)、外間早紀子(沖縄県保健医療
介護部健康長寿課)、松村敏信(県立八重山病院)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠席者：2名

宮里浩(那覇市立病院)、金城達也(琉球大学大学院)

陪 席：1名

西佐和子(琉大病院がんセンター)

【報告事項】

1. 令和6年度 第1回医療部会議事要旨について

有賀部会長より、資料1に基づいて説明があり、各自目を通して提案・指摘等あれば、
メールなどで報告をすることとなった。

2. 部会長、副部会長、委員の選任について

増田委員より、現在の委員の職種が、医師以外では県庁の方しかいないため、薬剤師・
看護師及び患者委員を加えたいと提案があった。協議の上、事務局から県看護協会・病院
薬剤師会・患者会に声掛けをし、次回部会までに候補者を選出することになった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 所掌分担領域の進捗の評価について

増田委員より、資料3に基づき説明があった。過去十年分の指標データを出せるツールを共同開発中であり、8月2日に行われる沖縄県がん診療連携協議会に提出する予定と報告があった。指標数値が空白の部分は、公開されていないため、各施設にアンケート調査を行う予定であるとのことだった。

2. 本年度部会重点事項

「専門医資格を持った医療者の養成とその適正配置をする方法について」

増田委員より、資料4に基づき説明があった。協議会で特に提言はせず、協議会委員に

この資料を見ていただき、現状を理解していただきたいという形で報告する予定とのことだった。有賀部会長より、全国平均よりも少ない現状をまずは共有することから始めてはどうかと協議会で提言してはどうかと提案があった。伊江副部会長から賛同があった。協議の上、協議会で提言を行うこととなり、協議会の承認を得た上で、26 病院に育成のための資料を配布し、協力体制を築きながら今後どうしていくかを考えていくことになった。

3. 院内がん登録をしている 18 施設が DPC-QI に参加することについて

- ・資料 5 が別件だったため、飛び込みで「沖縄県がん登録事業報告について」を議論され、医療部会としては特に異論がないため、協議会に提言することとなった。
- ・増田委員より、DPC-Q1 に参加している施設について説明があり、18 病院中 11 病院しか参加していないため、参加を促したいとのことだった。医療部会としては特に異論がないため、協議会に提言することとなった。

4. 次回の開催日程について

9 月開催予定（細かい日程は調整します）

5. その他

特になし。